



PTA 防災研修会 報告

今回は、当校卒業生保護者で、防災士の山本真紀氏をお迎えして、防災研修を実施することができました。参加された方の感想から一部抜粋して御紹介させていただきます。

最近災害が多く、子どもの避難所の事とかすごく心配だったので、話が聞けて良かったです。

家族だけではなく、近所の方にも助けてもらえるように、今からできることをやっていこうとも思いました。

でも一番は、住んでいる地区のまち協などの理解や対策を**一度確認**して備えておかないといけないことを知りました。**近所の方や友達にも声を掛け、みんなで共有して助け合っていきたいです。まずはできることから。**

私も防災士という資格に興味を持ちました。取得まではいけないかもしれませんが、子どもたちのために、**障害を持った方々のためになにができるか改めて考える時間**ともなりました。ありがとうございました。

以前 PTA の防災研修に参加してから防災袋の準備をしたり、ローリングストックを意識したりしてきました。**最近地震や災害が多く、いつ自分の身に起こってもおかしくない**ので、今日またお話が聞けて、改めて日頃からできることをやっていこうとも思いました。

防災への意識がより高まった良い機会になりました。ありがとうございました。これまでは私が自分で判断して準備をしてきましたが、**そろそろ本当に家族に真剣に訴えかけたい**と思いました。

先日ラジオで避難所への持ち物として、「避難所ではやることがないので、何か娯楽品を持参するとよいです。」と言っていました。その通りなのだと思いますが、何か違和感がありました。もちろん子供を守ること、安全を確保することが第一ですが、何もすることがないというのは、あまりにも人任せのような気がしました。とはいっても**実際避難所では私に何ができるのか想像もできないし、役に立たないかもしれないけれど、何かできることがあるのならば動きたいです。避難所で、みんなで協力できることとかあれば、聞いてみたい**と思いました。

車中泊での体調管理の難しさなど、考えていた避難がうまくできるとは限らないと知れたので、**たくさん選択肢を増やしておくことが大切**だなと思いました。

日頃の生活の中で「これは必要かどうか」常に気にしておく**と良い**なと思いました。

山本先生のお話は、いつも**アップデート**されているので、何回聞いても、ためになることがたくさんです。聞かないのは本当に損をしたいと思います。**2月15日の冬の防災訓練***にも行って見たいと思います。

***「シナリオのない防災訓練+α⑥ファイナル大八地区冬の防災訓練」**
主催:大八まちづくり協議会 会場 東山中学校体育館(指定避難所)

研修会の終わりに、「居住地区に関係なく、是非お越しく下さい。」と、案内をいただきました。詳しくお知りになりたい方は、チラシを頂いておりますので、学校までお問い合わせください。

最近の地震による避難事例から、「用意している非常食を我が子は食べることができるのか、排せつ後のビニール袋を自分で結べるか等、用意した防災グッズを我が子は実際に使えるのか、どんなサポートが必要なのかについて、事前に子どもさんと一緒に試してみて、心づもりをしておいたほうが良い」ということも教えてもらいました。また、「居住地域の対応」について、質問者の居住地域のまちづくり協議会事務局にさっそく問い合わせて下さり、現状が分かりました。「こんなふうだといいな、と夢を語り合おう。話しているうちに形になっていくこともある。」と PTA にエールを送って下さいました。参加者同士、「そうだね。夢を語り合おうね！」と合言葉のように言い合って解散しました。